



東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告⑨『きょういく東村山』より

赤ちゃん絵本ひろば



子育てに絵本を

中央図書館では、0歳・1歳児のためのおはなし会「赤ちゃん絵本ひろば」を市民センター2階で実施しています。毎月1回のおはなし会ですが、多いときには60組もの親子が参加してくれます。

図書館では、子どもの心や言葉を育てる絵本の良さを知ってもらいたい、絵本を子育てに取り入れてもらえば、子育てがもっと楽しくなることを伝えたいと思っています。

また、子育て中は、たくさんの人と交流したり、ふれあったりする場が必要です。そのための事業として、図書館の「子どもの本と人材バンク」に登録している「乳幼児への読み聞かせボランティア」の方たちと一緒に、「赤ちゃんの絵本ひろば」を実施しています。

赤ちゃんのためのおはなし会

「赤ちゃん絵本ひろば」には、毎回約10名のボランティアさんに来ていただき、開始前に図書館の職員と打ち合わせを行います。程なく赤ちゃんを連れてお母さんやお父さんの姿が見えるので、ベビーカーをたたんだり、抱っこひもをはずしたりのお手伝い。

中には、多摩湖町から電車に乗って来てくれる方もいらっしゃいます。かわいい赤ちゃんの姿を見て、思わず微笑みがこぼれるボランティアさんたちです。10時半から“くまさん、くまさん”の歌と共に「赤ちゃん絵本ひろば」が始まります。手遊びや大型絵本を全体で楽しんだ後、月齢ごと的小グループに分かれてもらい、それぞれにボランティアさんが入ります。

あるグループでは、『もこもこもこ』や『じゃあじゃあびりびり』など言葉のリズムや響きが楽し

い絵本の読み聞かせや赤ちゃんのお顔にふれながら遊ぶ”ここはとうちゃんにんどころ“のわらべうたをしていました。

交流タイム

読み聞かせの後の交流タイムでは、皆で子育ての話をしたり、メールアドレスを交換したり。ボランティアさんも、子育ての先輩としてアドバイスをされていました。こうして1時間があっという間に過ぎていきます。

絵本を読んでもらうことは、赤ちゃんやお母さんにとっても気持ちのいいことですが、読み手であるボランティアさんも、赤ちゃんの笑顔から元気をもらっているようです。

いろいろな場所にどうぞ

「赤ちゃん絵本ひろば」は、中央図書館、本町児童館、ほんちょう子育てひろばとの共催で、本町児童館内でも実施しています。

また、図書館では、全館で0歳児から参加できるおはなし会を実施していますので、どうぞお近くの図書館にお越しください。

図書館はこれからも、本を仲立ちにして人と人をつなぎ、本を通したまちづくりをしていきたいと考えています。

『きょういく東村山』第55号より

平成20年3月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会